

『もちづき人権通信』4号(1995年3月)

福田雅子「いのちの賛歌—水平社宣言」

『もちづき人権通信』5号(1996年3月)

小林恒重「報國農場遭難の記」

- 『部落問題・調査と研究』119号(1995年12月)  
 河野通博/佐藤安男/大森久雄「『荆冠記』完結を祝して(中)」  
 小林末夫「部落問題と天皇制(1)」  
 布川 弘「都市部落の形成(下)―神戸「新川」と「番町」の場合」
- 『部落問題・調査と研究』120号(1996年2月)  
 大林秀弥/原野 翹「『荆冠記』完結を祝して(下)」  
 小林末夫「部落問題と天皇制(2)」  
 編集部「[インタビュー3]畑中敏之さん―現代の部落問題とこれからの同和教育をめぐって(上)」
- 『部落問題研究』132輯<第32回部落問題研究者全国集会報告>(1995年3月)  
 深谷克己「『身分的周縁』を読んで考える」  
 須藤和美「江戸における髪結仲間について―山之手三組を中心に」  
 吉田伸之「芸能と身分的周縁―乞胸・香具師を例として」  
 大日方純夫「維新期における身分制の解体と近代警察の成立」  
 今西 一「文明開化と差別」  
 東上高志「戦後同和教育史の検討―「同和教育」の行方を見定めるために」
- 『部落問題研究』133輯(1995年7月)  
 森田竜雄「中世後期奈良の声聞師集団に関する一考察」  
 島田 等「書評/なさなければならぬ作業の始まり―藤野豊『日本ファシズムと医療』を読んで」  
 吉井克信「研究情報[前近代]細川涼一「中世非人論の現状と課題」」  
 能川泰治「研究情報[近現代]富山一郎『近代日本社会と「沖繩人」』」  
 松浦 勉「研究情報[教育]荒敬「占領下の治安対策と「非常事態」」」  
 小林准士「研究会報告[歴史部会]藤本清二郎/近世かわた村支配の政治構造―岸和田藩下、嶋村関係文書の分析を通して」  
 能川泰治「研究会報告[歴史部会]鈴木良/水平社創立と仏教の役割」  
 幡鎌一弘「研究会報告[歴史部会]幡鎌一弘/塚田孝「身分制の構造」を読む」
- 『部落問題研究』134輯<1994年部落問題研究の成果と課題>(1995年10月)  
 河野通博「1994年の成果と課題(序論)」  
 澤 博勝「前近代の被差別民研究・身分制研究をめぐって」  
 住友陽文「近代部落史研究の成果と若干の提言(1994年)」  
 ―――「部落問題の歴史的研究文献目録(1994年)」  
 杉山博昭「社会事業家と融和運動―一生江孝之の融和運動論」
- 『部落問題研究』135輯(1996年1月)  
 畑中敏之「嘉永三年「竹皮一件」の分析―「かわた」村の雪踏表内職」  
 能川泰治「日露戦後大阪における「貧民学校」の設立」  
 一盛真・木下光生「第33回部落問題研究者全国集会参加記/歴史分科会」

- 安原 均「第33回部落問題研究者全国集会参加記/部落問題と文芸分科会」  
 『部落問題研究』136輯<第33回部落問題研究者全国集会報告>(1996年3月)  
 成澤榮壽「部落問題研究の前提―「法」以後を考える」  
 西木浩一「部落問題研究と歴史史料の公開・刊行について」  
 亀岡哲也「地域史のとりくみと部落問題」  
 朝治 武「部落問題展示と博物館」  
 新井勝紘「近代民衆の差別意識と表現展示」  
 細井守・藤井寿一「コメント」  
 津田 潔「状況の中の小説『破戒』と、島崎藤村―その研究史からの素描」  
 川端俊英「近來の『破戒』論を論評する―作品評価をめぐって」
- 『部落問題と文芸』8号(1996年3月)  
 桑原 律「『大阪水平新聞』の回答と堺利彦の『輪廻』批評」  
 津田 潔「島崎藤村と、平野謙―小説『破戒』をめぐって―」  
 住田利夫「青鞥社の女性と部落問題(一)―富本一枝(尾竹紅吉)と『貧しき隣人』について―」  
 渡辺巳三郎「文学作品に見る足尾鉍毒事件と部落差別―佐江衆一『亡国―第一部 聖代の洪水』『炎と泥の祭』」  
 故・北川鉄夫「資料『部落問題文芸ノート』(荆冠の友)第七回」
- <へ>  
 『別冊スティグマ』8号(1995年11月)  
 坂井康人「常陸の「雑種賤民」―門付芸を中心に(下)」  
 若菜健一「千葉県関宿町I家所蔵『三國傳來記(寫)』」  
 鎌田行平「戦後部落解放運動の行方」
- 『舩松歴史資料館だより』4号(1995年9月)  
 ―――「所蔵資料より/舩松村南方共同銭湯上に関する規約書」  
 星田啓三「師匠阪田三吉を語る(III)」  
 ―――「お知らせ/阪田三吉名人ゆかりの将棋盤一式」
- 『舩松歴史資料館だより』5号(1996年3月)  
 ―――「直し―古老の聞き取り」  
 星田啓三「師匠阪田三吉を語る(IV)」  
 ―――「歴史コーナー(3)「南舩松青年団」と御陵通」  
 ―――「展示物紹介(3)いわゆる「解放令」」
- <ミ>  
 『水と村の歴史』10号(1995年10月)  
 大熊哲雄「猿まわし召補り一件」
- <モ>

- 松永唯道「提言／部落史学習の現在」  
前川 修「『オール・ロマンス事件』と『オール・ロマンス行政闘争』の史実を求めて」  
〈資料〉小説「特殊部落」  
竹森健二郎「部落解放全国委員会福岡県連合会の活動」  
川向秀武「戦後福岡県部落問題・解放運動関係資料(3)日誌〈部落解放全国委員会福岡県支部連合会(1947年)〉」  
辻本正教「御根太草履と呪的世界(中)」  
遠藤和夫「密教経軌にみる旃陀羅像」  
古文書学習会「近世民衆史の泉(4)」  
『部落解放史・ふくおか』81号(1996年3月)  
新森良子「福岡藩における皮多村の多様性」  
松下志朗「何が論点か」  
金山登郎「山本作馬関係史料(7)」  
古文書学習会「近世民衆史の泉(5)」
- 『部落解放史宮崎』5号(1995年7月)  
比江島哲二「内藤藩延岡非人頭平五郎(2)」  
稲森建蔵「延岡藩を中心とした被差別部落の歴史について『宮前県史・史料編近世』に見る」
- 『部落解放と大学教育』12号〈シンポジウム／部落解放の新たな展開を求めて〉(1995年8月)  
寺澤亮一「部落解放の新たな展開を求めて」  
沖浦和光「転換期に立つ部落解放運動」  
原 長生「部落解放の新たな展開を求めて—小学校の現場から」  
加藤雅菊「『洞村強制移転』の教材化」  
牧野統治「最近の部落問題学習」  
秋定嘉和「『近代被差別部落史』の枠組みの再構築をめざして」  
渡辺俊雄「戦後の部落史にかかわる問題提起」  
寺木伸明「前近代部落史研究の現在」  
門田秀夫「部落問題における歴史学習と融和主義」
- 『部落解放ひろしま』19号(1994年9月)  
青木秀男「水平精神によせて」  
大森賢司「魚撈文化と部落解放」  
平田美知子「『部落差別と宗教』と私」  
『部落解放ひろしま』21号(1995年6月)

- 高崎 登「水平社宣言を読む(1)」  
長坂公一「明慶寺過去帳の法名「釈義筌」を巡って」  
黒田明憲「江の川の魚撈文化」  
『部落解放ひろしま』22号(1995年10月)  
高崎 登「水平社宣言を読む(2)」  
広島県共鳴会機関誌『共鳴』復刻委員会「広島県共鳴会機関誌『共鳴』復刻について」  
『部落解放ひろしま』24号(1996年4月)  
高崎 登「研究／水平社宣言を読む(4)」  
山本慎一「論理なのか、情緒なのか—斎藤洋一著『身分差別社会の真実』を読んで」
- 『部落問題・調査と研究』112号(1994年10月)  
福田史郎「高校生部落研のはじまり(下)岡山県高校生部落問題研究連絡協議会の結成まで」  
高原重美・山口圭ほか「それぞれの解放運動史(3)」  
岡あきら「荆冠記 第十部『眺望』第五章」  
『部落問題・調査と研究』113号(1994年12月)  
岡 映／中山博／正司武雄／山口圭ほか「それぞれの解放運動史(4)」  
岡あきら「荆冠記 第十部『眺望』第六章」  
滝本広樹「『洗染一揆の跡を歩く』に参加して」  
『部落問題・調査と研究』114号(1995年2月)  
山口 圭／正司武雄／水杉清／中山博／岡映ほか「それぞれの解放運動史(5)」  
岡あきら「荆冠記 第十部『眺望』第七章」  
『部落問題・調査と研究』115号(1995年4月)  
岩間一雄「『部落の起源』について(上)」  
岡あきら「荆冠記 第十部『眺望』第八章」  
明楽 誠「『雑感愚語』洗染一揆の教材化と公教育の威信—娘の授業参観記—」  
『部落問題・調査と研究』116号(1995年6月)  
岩間一雄「『部落の起源』について(中)」  
岡あきら「荆冠記 第十部『眺望』第九章」  
『部落問題・調査と研究』117号(1995年8月)  
岩間一雄「『部落の起源』について(下)」  
岡あきら「荆冠記 第十部『眺望』終章」  
『部落問題・調査と研究』118号(1995年10月)  
杉之原寿一／鳥飼慶陽／那須靖雄／手塚亮／見土路清「『荆冠記』完結を祝して(上)」  
布川 弘「都市部落の形成(上)—神戸「新川」と「番町」の場合」

- (K) 「本の紹介／川元祥一『差別と表現』」  
 (川) 「本の紹介／三良坂岡岡田隣保館編『若狭・三良坂 竹細工の世界』」  
 『部落解放』398号(1995年12月)  
 木津 譲「差別戒名に懺悔—梅田信隆・曹洞宗管長が長野県で差別戒名を拝む」  
 西尾恵美子「藤沢喜郎さんのこと」  
 瓦版屋「リパティおおさかがりニューアルオープンしまっせ！」  
 (智) 「本の紹介／阿部謹也『「世間」とは何か』」  
 『部落解放』399号<第26回部落解放夏期講座>(1996年1月)  
 姜 在彦「在日韓国・朝鮮人からみた「戦後五十年」」  
 大賀正行「同和对策審議会答申三十年と部落解放の課題」  
 寺木伸明「近世社会と被差別部落」  
 北崎豊二「近代大阪と部落問題」  
 菱木政晴「宗教の戦争責任」  
 秋定嘉和「戦時下の部落解放運動と「転向」問題をめぐって」  
 『部落解放』400号<これからの解放運動>(1996年1月)  
 斎藤洋一「史実に基づいて部落史を考える」  
 (熊) 「本の紹介／小山仁示『戦争 差別 公害』」  
 (敏) 「本の紹介／高見篤良編『出世魚・風嘯』」  
 『部落解放』401号(1996年2月)  
 小島伸豊「大阪人権博物館って、どんなところ？」  
 乾俊彦・中村水名子・室田卓雄・西岡陽子「座談会／部落の民俗文化をまとめる—「被差別部落の民俗伝承・大阪」を刊行して」  
 (愛) 「本の紹介／清水孝『良妻賢母の誕生』」  
 『部落解放』402号<第29回部落解放研究全国集会報告書>(1996年2月)  
 渡辺俊雄「基調報告／部落史と解放運動史研究の課題—いくつかの問題提起」  
 朝治 武「報告(1)部落史研究と人権博物館・資料館」  
 前川 修「報告(2)崇仁地区寺院調査より」  
 『部落解放』403号(1996年3月)  
 明石一朗「本の紹介／大阪市同和教育研究協議会編『しごと・くらし・そして食べる』」  
 (末) 「本の紹介／林久良『旃陀羅』」  
 『部落解放研究』102号(1995年2月)  
 渡辺俊雄「書評／キム・チョンミ『水平運動史研究』」  
 朝治 武「史料紹介／『水平運動の情勢』—創立期全国水平社をめぐる地方行政史料」  
 『部落解放研究』103号<近代部落史研究の現状と課題>(1995年4月)  
 蓮城寺秋幸「第1報告／1990年代前期の近代部落史」

- 小林丈広「第2報告／近代部落史の研究動向」  
 朝治 武「第3報告／近年の水平運動史研究」  
 南川久子「図書紹介／網野善彦著『中世の非人と遊女』—職人身分の一形態」  
 塩見鮮一郎「書評／中尾健次著『弾左衛門—大江戸もう一つの社会』」  
 乾武俊・西岡陽子・宮田登・中村水名子・室田卓雄・松原右樹「シンポジウム／被差別部落の民俗伝承からの問いかけ」  
 ———『部落史関係文献目録(1994年4月～12月)』  
 『部落解放研究』104号(1995年6月)  
 下村欣司「近世和泉の物吉について」  
 松本健男・養父知美・桜井健雄・竹下政行「シンポジウム／戦後の部落問題関係判例—差別表現、糾弾、結婚差別を中心に」  
 原田伴彦賞選考委員会「第二回原田伴彦賞選評」  
 『部落解放研究』106号(1995年10月)  
 寺木伸明「大阪の部落史研究の現状と課題(前近代)」  
 秋定嘉和「近代の大阪の部落史研究の現状と課題(近現代)」  
 『部落解放研究』107号(1995年12月)  
 宮橋国臣「部落史の窓(1)被差別部落が描かれている切手」  
 『部落解放史・ふくおか』77号<被差別民の聖と俗>(1995年3月)  
 辻本正教「御根本草履と呪的世界(上)」  
 永井彰子「韓国の盲僧集団—道流僧から大韓易理学会へ」  
 遠藤和夫「仏典にみる旃陀羅像」  
 かとうよういち「差異から関係へ」  
 石瀧豊美「中村至道ノート(2)郷土雑誌『福岡県人』から中村至道関係記事」  
 永尾正剛「故米津三郎氏の一周忌にあたって」  
 金山登郎「史料紹介／山本作馬関係史料(6)」  
 古文書研究会「近世民衆の泉(1)」  
 『部落解放史・ふくおか』78号(1995年6月)  
 中島史夫「私にとっての「部落解放史」」  
 三苦鐵児「「絆」考—夢野久作の日記より」  
 安藤龍生「永末十四生さんを偲ぶ」  
 古文書研究会「史料紹介／近世民衆史の泉(2)」  
 『部落解放史・ふくおか』79号(1995年9月)  
 松下志朗「近世社会における民衆の放浪—東九州と瀬戸内海沿岸部を中心に」  
 石瀧豊美「近世初期福岡藩の部落史史料について—松下志朗氏の批判に答える」  
 中村久子「差別戒名—発見から今日まで」  
 古文書学習会「近世民衆史の泉(3)」  
 『部落解放史・ふくおか』80号<戦後部落解放運動の展開>(1995年12月)

- 【部落】589号(1995年3月)  
東上高志「追悼 藤谷俊雄先生」
- 【部落】591号(1995年5月)  
古川利通「本棚／『部落問題の解決と日本国憲法』」  
尾川昌法「本棚／『戦後政治支配と部落問題—「解同路線」はどう形成されたか』」
- 【部落】593号(1995年7月)  
小牧 薫「本棚／『「部落史」の終わり』」
- 【部落】595号(1995年特別号)  
＜藤谷俊雄先生を偲ぶ会＞杉之原寿一／井口和起／村崎勝利／フルート演奏・戸田茂／佐藤匡子／岩井忠熊／藤谷義兼／松尾美和子／井ヶ田良治／木久子／脇田 修／司会・東上高志
- 【部落】596号(1995年9月)  
勝山元照／小牧 薫／畑中敏之／水谷孝信／司会構成・東上高志「座談会「部落問題学習」をめぐって—畑中敏之『「部落史」の終わり』の刊行を機に」
- 【部落】597号(1995年10月)  
谷彌兵衛「解放運動の最長老 西浦忠内さんを偲ぶ」
- 【部落】600号(1995年12月特別号)  
佐々木隆爾「岐路としての戦後50年」
- 【部落】601号(1996年1月号)  
山上 豊「分科会報告／歴史」
- 【部落解放】385号(1995年2月)  
(知) 「本の紹介／浅田喬二『「帝国」日本とアジア』」  
(渡) 「本の紹介／佐藤次高ほか編『都市の文明イスラーム』」
- 【部落解放】386号＜部落解放研究第28回全国集会＞(1995年2月)  
渡辺俊雄「部落史と解放運動史研究の課題—いくつかの問題提起」  
首藤卓茂「福岡の水平社青年同盟の活動」  
守安敏司「「水平社歴史館」建設を目指して」
- 【部落解放】387号(1995年3月)  
瀬川政博「誇りある竹細工の再生をめざして—広島家・三良坂での取り組み」
- 【部落解放】388号(1995年4月)  
(渡) 「本の紹介／謝世輝『これでいいのか世界史教科書』」  
(渡) 「本の紹介／新田一郎『相撲の歴史』」
- 【部落解放】389号(1995年5月)  
(湯) 「本の紹介／脇田晴子『中世に生きる女たち』」
- 【部落解放】390号＜西光万吉生誕百年＞(1995年6月)  
宮崎芳彦「西光万吉と和の思想—生誕百年に寄せて」  
守安敏司「先輩をしのんで—西光万吉生誕百年記念展示—御所市柏原解放文化

- 祭」  
住井すゑ「思案のひと」  
師岡佑行「西光さんのお酒」  
永 六輔「ぼくが出会った西光さん」  
塩見鮮一郎「水平社宣言の魅力」  
増田れい子「生涯“平均台”の上を歩いたひと—清原美寿子さんの語る夫・西光万吉」  
小林完・清原美寿子・三浦正男・長浜信雄「座談会／戦中・戦後 西光万吉の思い出」  
青盛 透「本の紹介／細川涼一『中世の身分制と非人』」  
(智) 「本の紹介／江口圭一『日本の侵略と日本人の侵略観』」  
川元祥一「形成史を訪ねて(1)神石の祭り—鹿児島県宮之城」
- 【部落解放】391号(1995年7月)  
田中嘉男「石川・富山の被差別部落の系譜—藤内の形成および役と暮らし」  
村越末男・秋定嘉和・加藤昌彦・城間哲雄「座談会／渡部徹先生の思い出」  
中村清二「本の紹介／部落解放研究所編『戦後部落問題判例』」  
(智) 「本の紹介／網野善彦『職人と芸能』」
- 【部落解放】393号＜敗戦五〇年と全国水平社＞(1995年8月)  
[報告と討論] 秋定嘉和／藤野豊／朝治武／蓮城寺秋幸／司会・渡辺俊雄  
渡辺俊雄「報告(1)今なぜ、全国水平社の戦争責任か」  
秋定嘉和「報告(2)1930年代の日本社会と社会運動」  
藤野 豊「報告(3)全国水平社の戦争協力における二潮流」  
朝治 武「報告(4)戦時下水平社の差別糾弾闘争」  
蓮城寺秋幸「報告(5)戦時下部族の生活と要求」  
(智) 「本の紹介／吉見義明『従軍慰安婦』」  
溝上 瑛「カメラが追った部落の変容—菅智鉉写真集『部落』」
- 【部落解放】395号(1995年9月)  
和田恵治「明治初期の一村独立の闘いを明らかに—原田伴彦賞を受賞して」  
川元祥一「ダブルスタンダードと表現」  
吉田栄治郎「本の紹介／『新修 大阪の部落史』上巻」
- 【部落解放】396号(1995年10月)  
川元祥一「形成史を訪ねて(2)「太平記」のその後—群馬県世良田」  
(蚤) 「本の紹介／斎藤洋一+大石慎太郎『身分差別社会の真実』」  
(熊) 「本の紹介／乾武俊『民俗文化の深層』」
- 【部落解放】397号(1995年11月)  
寺澤亮一「西浦忠内さんをしのぶ—水平運動に生きた「いっこく者」の叔父」  
みつゆき「本の紹介／六区生活史調査研究委員会編『いまを生きる—そしてあしたへ』」

『青鶴』(チョンハク) 8号 (KMJ研究センター、1996年3月)

水野直樹「在日朝鮮人・台湾人の参政権を「停止」した二つの文書」

『地域と民衆』30号 (部落解放泉南紀北地域民衆史研究会、1996年2月)

石垣 進「部落産業の成立」

山中 明「消えた夙村」再考」

<ト>

『同和問題研究』17号 (大阪市立大学同和問題研究室紀要、1995年3月)

八木 正「日本の食肉産業における雇用形態と労働の実状—部落差別と職業差別の重層への問い」

『同和教育論究』15・16号<田中松月追悼特集号> (1994年5月)

田中松月「私のあゆんだ道—差別と闘い八十六年」

斉藤 真「田中松月先生と同朋運動」

岩本孝樹「同朋運動の批判性—同朋運動の「原理」とはなにか」

———「田中松月年譜」

<ナ>

『ながさき部落解放研究』30号 (1995年3月)

岩松繁俊「敗戦50年・差別からの解放の歩み (I)」

『ながさき部落解放研究』31号 (1995年10月)

岩松繁俊「敗戦50年・差別からの解放の歩み (II)」

長崎県生活環境部同和对策室「長崎県同和行政の歩み」

『ながさき部落解放研究』32号 (1996年3月)

阿南重幸「肥前諫早領での近世「被差別」部落の形成とその役割」

長崎県部落史研究所「『犯科帳』史料紹介—「部落」史関係記事」

橋口和孝「大村藩史料紹介—「口上覚」について」

<ハ>

『花園大学人権教育研究室紀要 (人権教育研究)』3号 (1995年3月)

佐々木閑「仏教僧団と一般社会の関係」

中尾良信「差別戒名の確認と対処—栃木県下差別戒名調査を踏まえて」

森本泰弘「滋賀県の部落史研究動向」

<ヒ>

『ひらく』11号 (解放文化研究所、1996年5月)

山口登志夫「1995年度 一般校で「部落起源史」をいかに教えたか」

『ヒューマンライツ』86号 (1995年5月)

乾 武俊「子どもがめぐる「地藏さん」

『ヒューマンライツ』91号 (1995年10月)

渡辺俊雄「図書紹介／部落史学習に大きな刺激—斎藤洋一『身分差別社会の真実』」

『ヒューマンライツ』92号<人権と博物館の現在> (1995年11月)

大塚和義「博物館の展示と人権」

高野昭之助・守安敏司・新井勝紘・長谷川賢二・高橋和男・前川修・朝治武「座談会／人権情報発信地への展望」

向井 正「新しくなる大阪人権博物館」

芹澤 齋「人権の歴史」

『ひょうご部落解放』61号 (1995年1月)

のびしょうじ「近代成立前後「兵庫」の食肉問題—江戸後期の牛肉食」

佐々木道雄「朝鮮の食文化と日本」

杉本昭典「書評／中尾健次『弾左衛門』」

『ひょうご部落解放』62号<共同研究報告：水上町の被差別部落に見る伝承と生活> (1995年3月)

西田英一「第1章 生業」

中村水名子「第2章 食・住」

中村水名子「第3章 婚礼」

永瀬康博「第4章 葬送儀礼」

永瀬康博「第5章 信仰」

太田恭二「第6章 年中行事」

瀬川健二郎「高木橋秘話—和田国松氏の偉業」

城間哲雄「戦後初期兵庫県部落解放運動と前田平一 (下の1)」

高木伸夫「兵庫県融和運動史関係年表 (草稿) その3」

安保則夫「追悼／「山ちゃん」こと山田照美先生の思い出」

『ひょうご部落解放』65号 (1995年9月)

安達五男「このごろ思うこと 史料集の出版に取り組んで」

『ひょうご部落解放』68号 (1996年3月)

高木伸夫「「高木橋秘話—和田国松氏の偉業」への疑問」

中尾健次「史料／播磨国印南郡の部落史関係史料」

森本 晃「書評／『「忍と力と」「破戒」モデル大江磯吉の生涯』

<フ>

『部落』588号 (1995年2月)

渡辺恒一「分科会報告／歴史I 前近代」

高久嶺之介「分科会報告／歴史II 近代」

渡辺巳三郎「分科会報告／部落問題と文芸」

桑原 律「『破戒』批評との出会い」

野口道彦「差別と反差別の分かれ道—意識調査の分析から」

<コ>

『国民融合通信』239号(1995年12月)

谷 彌兵衛「差別のない社会をもとめ102歳の生涯つらぬく西浦忠内さんを偲ぶ」

『こべる』30号(1995年9月)

師岡佑行「古地図の復権」

『こべる』31号(1995年10月)

中村 勉「『綱領改正案』の議論に先立つもの」

ともいきみかず「投稿／問題の捉え方がおかしいのではないか—部落問題の現実についての点描」を読んで」

『こべる』33号(1995年12月)

すみだいくこ「歴史の真実を知りたくて—師岡論文「古地図の復権」に思う」

<サ>

『S a i』16号(1995年9月)

伊ヶ崎淑彦「朝鮮通信使のあとをたどる(4)」

『佐賀部落解放研究所紀要』11号(1994年3月)

永井彰子「史料紹介／佐賀鍋島藩の盲僧集団」

白石正明「史料紹介／『昭和二年中ニ於ケル水平運動ノ状況』」

川向秀武「基調提案／全九州水平社研究の課題」

『佐賀部落解放研究所紀要』12号(1995年3月)

太田心海「佐賀の被差別部落形成に関する一考察」

丹野眞智俊「人間真理の「虚」と「実」—偏見をめぐる」

木津 謙「差別戒名と宗教家の差別性を問う」

中村久子「資料／多久家『御屋形日記』から」

『佐賀部落解放研究所紀要』13号(1996年3月)

白石正明「佐賀県水平社の創立をめぐる」

『雑学』10号(下之庄歴史研究会、1994年11月)

金井英樹「『五勺の酒』とその時代(上)」

守安敏司「下之庄水平社運動研究の提起(中)」

辻本正教「穢れと清め、そして草履(5)」

高桑健二「中上健次私論ノート5」

大安寺一「拝啓 住井すゑ様」

植村 寛「シンポジウム部落史観の転換・第1回を終えて」

『雑学』11号(下之庄歴史研究会、1995年5月)

上野 茂「『穢多』記載と権力」

守安敏司「下之庄水平運動研究の提起(下)」

金井英樹「『五勺の酒』とその時代(中の前)」

高桑健二「中上健次私論ノート6」

『雑学』12号(下之庄歴史研究会、1995年11月)

朝治 武「全国水平社における綱領の歴史」

辻本正教「穢れと清め、そして草履(6)」

金井英樹「『五勺の酒』とその時代(中の後)」

高桑健二「中上健次私論ノート(7)」

茶屋休也「ねむれぬ夜のその朝に・序(承前)」

仲林弘次「『水平社歴史館』謎学の旅(1)謎の彗星「楠川由久」研究覚書」

松田量善「三輪山際記と被差別部落豊田の関わりを探る(一試論)」

上野 茂「史料紹介／下之庄関係史料<「米騒動」と「労働争議」>」

『差別とたたかう文化』第2期6号(1995年春)

吉田永宏「小諸荒堀部落訪問」

<シ>

『信州農村開発史研究所報』51・52合併号

柳沢恵二「江戸時代のいじめ」

友常 勉「地域の歴史にふれる喜び」

『信州農村開発史研究所報』53号

斎藤洋一「朝鮮人参栽培は小諸藩のほうが早かった」

『身同』13号(1994年12月)

藤本信隆「三浦大我(参玄洞)と初期水平運動」

神内正信「西光万吉が見たもの(2)「念佛者は人間を見る」」

松岡満雄「弾左衛門と東本願寺教団(2)」

『身同』14号(1995年8月)

松岡満雄「弾左衛門と東本願寺教団(3)」

『人権茨木』2号(茨木市役所人権問題研究会、1994年3月)

足立義之「『継体(天皇)陵』をめぐる一部落問題との関連において」

<セ>

『世界人権問題研究センター研究紀要』1号(1996年3月)

水野直樹「在日朝鮮人・台湾人参政権「停止」条項の成立—在日朝鮮人参政権問題の歴史的検討」

松田利彦「東亜連盟論における朝鮮問題認識—東亜連盟運動と朝鮮・朝鮮人(1)」

山本尚友「古代末期における非人身分の生成過程」

<チ>

- 平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第15回」  
 『月刊滋賀の部落』244号(1995年11月)  
 谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第19回」  
 平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第16回」  
 『月刊滋賀の部落』245号(1995年12月)  
 畑中誠治・谷口勝巳、司会川本治雄<特集歴史研究の現状と部落問題学習>「対談 ダイナミックな民衆の動きをとらえる (I)」  
 谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第20回」  
 『月刊滋賀の部落』246号(1996年1月)  
 畑中誠治・谷口勝巳、司会川本治雄<特集歴史研究の現状と部落問題学習>「対談 ダイナミックな民衆の動きをとらえる (II)」  
 谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第21回」  
 『月刊滋賀の部落』248号(1996年2月)  
 谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第22回」  
 『月刊滋賀の部落』249号(1996年3月)  
 谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第23回」
- 『月刊スティグマ』9号(1996年1月)  
 —— 「記録された近世人の生活を読み解きたい」
- 『月刊部落問題』218号(1995年1月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(1)明治初年の日稼人足」  
 『月刊部落問題』220号(1995年4月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(2)日稼人足会所」  
 『月刊部落問題』221号(1995年5月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(3)多就労世帯の形成」  
 『月刊部落問題』222号(1995年6月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(4)「貧民」と「賤業」」  
 『月刊部落問題』223号(1995年7月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(5)「市民」と「貧民」」  
 『月刊部落問題』224号(1995年8月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(6)「新川」の形成①」  
 『月刊部落問題』226号(1995年10月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(7)「新川」の形成②」  
 『月刊部落問題』227号(1995年11月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(8)「細民部落改善」と部落問題①」  
 『月刊部落問題』228号(1995年12月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(9)「細民部落改善」と部落問題②」

- 『月刊部落問題』229号(1996年1月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(10)「細民部落改善」と部落問題③」  
 『月刊部落問題』230号(1996年2月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(11)「細民部落改善」と部落問題④」  
 『月刊部落問題』231号(1996年3月)  
 布川 弘「近代の社会的差別(12)「細民部落改善」と部落問題⑤」
- 『研究紀要』2号(奈良県立同和問題関係史料センター、1995年3月)  
 奥田喜則「大和国における小学校就学状況—明治十五年「公立学校設置開申書」から」  
 吉田栄治郎「地域社会の対かわた村観に関するノート」  
 井岡康時「奈良県の部落改善政策と改善運動—その問題点と課題」  
 中川みゆき「座頭祝金をめぐる地域社会の動向」  
 奥本武裕「研究ノート／大和国の「部落寺院」の本末関係について」  
 『研究紀要』3号(1996年3月)  
 奥田喜則「明治初期の小学校における教育内容と部落問題—修身教科書を中心にして—」  
 吉田栄治郎「奈良県における明治二十四年の部落学校分離反対運動—露頭する水平社への脈脈—」  
 井岡康時「明治初期の斃牛馬処理をめぐる考察」  
 中川みゆき「地域社会と巡在人—天保期大和国の巡在座頭取り締まりをめぐる—」  
 奥本武裕「大和国「部落寺院」の動向についての覚書—大和国十五日講・三業感乱—」  
 山村雅史「「大和万歳」に関する研究ノート」
- 『研究所通信』206号(1995年10月)  
 —— 「各地の部落史研究の成果を共有—第1回全国部落史研究交流会」  
 『研究所通信』207号(1995年11月)  
 寺木伸明「主張／大阪の部落史編纂事業の推進にむけて」  
 事務局「部会報告／書評・和田恵治『被差別部落—一村独立史』」  
 宮前千雅子「図書紹介／近代の大阪を語るときの必携書—小山仁史『戦争 差別 公害』」  
 『研究所通信』211号(1996年3月)  
 事務局「国際身分制研究会／士農工商の由来と近世身分制理解の再検討」
- 『研究報告』第9集(奈良県大学同和教育研究協議会、1995年3月)  
 吉田栄治郎「奈良の部落史を考える—部落問題解決のための課題と展望として」



——「リニューアルオープン後の催し」

『季刊・リパティ』13号(1996年3月)

竹森健二郎・本田豊・前川修・守安敏司・割石忠典・朝治武・角岡伸彦・吉村智博「座談会／常設展示をめぐって①被差別部落と身分」

友寄景方「はくにとつての「沖縄」」

木津 譲「竹に生かされて」

向井正・相蘇一弘・萱野茂・今井美沙子・金城実・小沢昭一・辛基秀「追悼・寺本知」

編集部「リパティホールの壁画はこうしてつくられた」

角岡伸彦「観たり聴いたり」

<ク>

『グループ』1号(1995年4月)

福田雅子「西光万吉生誕一〇〇年」

『グループ』2号(1995年7月)

平野一郎「同和対策審議会の答申三十年」

『グループ』3号(1995年10月)

福田雅子「字をおぼえて夕やけが美しい—北代色さんと識字」

溝上 瑛「狭山事件とのかすかな縁」

平野一郎「加害者の私・差別者の私」

平野一郎「大阪人権博物館」

『グループ』4号(1996年1月)

林屋辰三郎「人のいのちと「非人」」

水野直樹「戦後五十年」「憲法五十年」と在日朝鮮人の人権」

平野一郎「人権教育へ向けて踏み出す年」

中尾 宏「金忠善—沙也可顕彰のこと」

西村武彦「人権ひとこと／差別のことばと差別意識」

(H) 「こんな本が出ています／『川渡甚太夫一代記』」

(H) 「こんな本が出ています／『世間とは何か』」

<ケ>

『荆冠』創刊号<奈良県立高田東高校定時制>(1995年4月)

宮橋国臣「雑学フォーラム／記念切手「近代解剖教育記念」に寄せて」(～2、第2号、5月)

『月刊滋賀の部落』229号(1994年10月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第7回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第3回」

『月刊滋賀の部落』230号(1994年11月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第8回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第4回」

『月刊滋賀の部落』231号(1994年12月)

東川嘉一「畑中誠治先生著『近世近江の農民』出版を祝う会を開催」

苗村和正「湖国の民衆(近代) 第2回」

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第9回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第5回」

『月刊滋賀の部落』232号(1995年1月)

苗村和正「湖国の民衆(近代) 第3回」

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第10回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第6回」

『月刊滋賀の部落』234号(1995年2月)

苗村和正「湖国の民衆(近代) 第4回」

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第11回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第7回」

『月刊滋賀の部落』235号(1995年3月)

歴史研究部会「部落史研究の成果と課題」

苗村和正「湖国の民衆(近代) 第5回」

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第12回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第8回」

『月刊滋賀の部落』236号(1995年4月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第13回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第9回」

『月刊滋賀の部落』237号(1995年5月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第14回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第10回」

『月刊滋賀の部落』238号(1995年6月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第15回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第11回」

『月刊滋賀の部落』239号(1995年7月)

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第12回」

『月刊滋賀の部落』241号(1995年8月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第16回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第13回」

『月刊滋賀の部落』242号(1995年9月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第17回」

平井清隆「自分史 私の小さな足跡 第14回」

『月刊滋賀の部落』243号(1995年10月)

谷口勝巳「近江の歴史逸話物語 第18回」

寺木伸明「部落史研究から部落史学習へ—歴史学習への二、三の提言」

渡辺俊雄「『元気』と『カラ元気』—部落問題学習の自己改革を」

『解放教育』336号（1996年2月）

寺木伸明「読書のつば／斎藤洋一『身分差別社会の真実』

『解放研究』8号<『明日を拓く』10号、特集：近代社会の中の被差別部落>（1995年3月）

小谷汪之「カースト制度と不可触賤民差別—その歴史と現状」

金子マーティン「繊維産業と被差別部落の女性労働者—東日本を中心に（下）」

友常 勉「明治期の衛生政策と東京の被差別部落（上）」

古賀芳夫「近代東京における部落問題と教育について—初等教育を中心に」

内田雄造「住宅問題・社会政策と東京市社会局調査」

藤沢靖介「埼玉県北部に残る戦国大名の文書と伝承の意味」

武藤啓司「東京都同教二十年の歩み」

『解放研究』9号<明日を拓く13号>（1996年3月）

三橋 修「部落の歴史と差別の歴史—なぜ<コンチクショウ>を論じたか」

島谷直子「『狭山事件』をつくりあげた新聞報道」

友常 勉「明治期の衛生政策と東京の被差別部落（下）」

——「資料／二十世紀初頭東京を中心とする皮革産業—『皮革世界』の記事から」

『解放新聞』1713号（1995年4月）

藤沢靖介・吉田勉・北爪壺「座談会／ムラの歴史を掘り起こす」

『解放新聞』1730号（1995年8月）

秋定嘉和「図書紹介／曹智鉉写真集『部落』」

『解放新聞』1734号（1995年9月）

曹 智 鉉「人・ひと・ヒト（103）常識的な美学を変えないかぎり、解放の論理はでてこないと思う」

(B) 「東西南北95／阿部謹也著『「世間」とは何か』を読む—必要なパラダイム・チェンジ」

『解放新聞』1755号（1996年2月）

師岡佑行「人・ひと・ヒト／「近世政治起源説」は京都では実証的になりたない」

『関西大学人権問題研究室紀要』30号<開設20周年記念号>（1995年2月）

金 英 達「解放時の在日朝鮮人数について—各種資料の整理と数字の考察」

吉田徳夫「阿波国における部落起源の序説」

源 淳子「天皇制国家における植民地政策—朝鮮女性への皇民化教育とその思

想」

『関西大学人権問題研究室紀要』31号（1995年5月）

梁 永 厚「戦前の大阪市社会部刊『内鮮労働用語集』について」

『関西大学人権問題研究室紀要』32号（1995年12月）

金 英 達「『解放時の在日朝鮮人2,365,263人』の怪談—在日朝鮮人史のミステリーを暴く」

金 英 達「資料／一九四六年三月の朝鮮人、台湾人、中国人、琉球人についての人口調査および帰還登録の集計結果」

<キ>

『季刊・リパティ』9号（1995年3月）

高橋和男「くらしを守る人権と平和—福山市立人権平和博物館」

嶋田 実「李基允氏と裴相度氏の『墓石』と追悼碑—三重県木本で虐殺された朝鮮人労働者」

木津 譲「『部落地名総鑑』事件は何を教えたのか」

小島伸豊「特別展「日本の公害」を開催して」

吉村智博「筑豊の面影」

『季刊・リパティ』10号（1995年6月）

吉田栄治郎「『歴史を探る—復権と創造のために』同和問題関係史料センターの開館特別展示から」

上島敏昭「伊勢大神楽の近江巡行」

辛 基 秀「コラム人権／戦後五〇年、問われるもの」

秋定嘉和「『読む』ことから『見る・聞く』ことへ—国立歴史民俗博物館の展示」

小島伸豊「バンコク・クロントイスラムの環境と衛生」

文 公 輝「鉱山のロマンを実体験—丹波マンガ記念館」

宮前千雅子「最近の出産事情」

仲間恵子「普久原朝喜と大阪」

大阪人権歴史資料館「特別展「近代日本とアイヌ民族」の問題点と反省」

『季刊リパティ』11号（1995年9月）

前川 修「旧柳原銀行保存と地域資料館設置に向けて」

滝尾英二「韓国ハンセン病の島・小鹿島を訪ねて—もうひとつの植民地支配」

かわえしげまつ「コラム人権／相談活動の中から」

向井 正「『部落解放センター』と大阪の戦後部落解放運動小史」

文 公 輝「旧朝鮮総督府建物の撤去—韓国、映像取材の旅」

栗山靖弘「女性の手紙マニュアルの今昔」

『季刊リパティ』12号（1995年12月）

君塚仁彦・朝治武「対談／博物館の展示表現と人権」

角岡伸彦「展示映像の可能性と限界」

リパティおおさか職員「リニューアルオープンを準備して」

関口博巨「弾左衛門支配と「非人」一甲斐国都留郡の事例から」  
 <ワ>  
 『和歌山地方史研究』28号(1995年7月)  
 ふじいとしかず「書評／渡辺広著『未解放部落の源流と変遷』

### (3) 部落問題・人権関係逐次刊行物

<ア>

『明日を拓く』8号<被差別部落の生活・文化・技術 その2>(1995年3月)  
 笹本正治・斎藤洋一「笹本正治氏に聞く一中世・戦国期、東国の職人の世界」  
 中沢武人「聞き取り／北信濃のムラのいつたえとしごと／一形成譚・門付・製  
 菓・信仰」  
 ———「聞き取り／草履づくりを通して歴史の掘り起こしを一埼玉県白岡町」  
 編集部「聞き取り／「履物の王様」棕櫚表産業をになって」  
 坂井康人「門付芸「ナエトリ」について(下)」  
 友常 勉「地域の歴史にふれる喜び一訪問記・浅科村の古文書を読む会」

『アフーマティブやまぐち21』2号(1995年12月)  
 宮田伊津美「岩国領内における「エタ」身分の社会進出」

<オ>

『おおいた部落解放史』14号(1995年3月)  
 白井寿光「近代社会の食肉問題とケガレ」  
 小犬丸裕「韓国「衡平社」創立70周年記念事業に参加して」  
 『おおいた部落解放史』15号(1995年11月)  
 渡辺達也「時枝領の成立と被差別部落覚書」  
 栳田美純「触穢思想と被差別民衆」  
 芦刈政治「ケガレ所感」  
 辛島亮一「校内に残る「朝鮮帰国記念樹」に学ぶ」  
 久米忠臣「フィールドワーカー浅黄半襟一揆の足跡に学ぶ」

『大阪の部落史通信』1号(大阪の部落史委員会、1995年6月)  
 布引敏雄「史料紹介／河州西郡村穢多共乱妨打毀一件」  
 井上秀和「各地の部落史研究／東の歴史と生活を掘り起こす会」  
 松原右樹「図書紹介／墓上の松をめぐる〜『被差別部落の民俗伝承 大阪』」  
 『大阪の部落史通信』2号(1995年8月)  
 大阪の部落史委員会事務局「市町村史における部落史」  
 ———「史料収集の動き」  
 小島伸豊「各地域の部落史研究／飛鳥の歴史をつくる会」

山本尚友「書評／『新修 大阪の部落史』上巻」  
 朝治 武「書評／『新修 大阪市史』第七巻の部落問題記述」  
 松原右樹「図書紹介／『被差別部落の民俗伝承 大阪』」  
 『大阪の部落史通信』3号(1995年10月)  
 近藤孝敏「史料紹介／「福原家文書」嶋村関係資料について(1)」  
 渡辺俊雄「史料紹介／「身分と階級」の議論の奥にあったもの一大阪府連の方針  
 書を読む」  
 岡本次男「各地域の部落史研究／向野地域産業と歴史研究会」  
 『大阪の部落史通信』4号(1995年12月)  
 茨木芳子「史料紹介／能勢町下田村福井家文書の「一札」」  
 渡辺俊雄「図書紹介／松田利彦『戦前期の在日朝鮮人と参政権』」  
 寛 秀夫「各地区の部落史研究／舩松歴史資料館」  
 里上龍平「市町村の史料を訪ねて／大阪市」  
 『大阪の部落史通信』5号(1996年3月)  
 左右田昌幸「史料紹介／「松前一件」における「穢駄村」」  
 中尾健次「史実／別個の集落だった下瓦屋地区一『新修 大阪の部落史』上巻の  
 記述に関わる自己批判」  
 渡辺俊雄「図書紹介／松田利彦『戦前期の在日朝鮮人と参政権』」  
 松原右樹「信太山盆踊りと左マワリー図書紹介／『被差別部落の民俗伝承 大  
 阪』」  
 大賀喜子「各地区の部落史研究／部落解放日之出地区部落史研究会」  
 ———「研究会報告／現代部会」  
 ———「寄贈図書一覧」

『岡山部落解放研究所紀要』10号(1995年3月)  
 美作部落史研究班「美作津山藩被差別部落関係資料(5)」

<カ>

『解放教育』323号(1995年2月)  
 中村拡三「日本のピオネールを追いつづけて」  
 『解放教育』324号(1995年3月)  
 中村拡三「日本のピオネールを追いつづけて」  
 中島 繁「小泉八雲の神戸クロニクル論説」  
 『解放教育』329号(1995年6月)  
 <特集>「ガイドブック／解放教育のための105冊」  
 『解放教育』330号(1995年8月)  
 佐々木一行(聞き手／平野一郎)「戦後50年 解放教育草創期の足あとをたどる  
 (1)」  
 『解放教育』332号(1995年10月)

- 塚田 孝「〈近世〉近世大阪の茶屋をめぐる」  
『ヒストリア』149号（1995年12月）  
畑中敏之「近世「かわた」村の雪駄稼一和泉国南王子村の事例を中心に」  
<フ>  
『風俗』32巻1号（日本風俗史学会、1993年1月）  
西海賢二「村のコミュニケーション」  
『ふびと』45号（三重大学歴史研究会、1993年1月）  
和田 勉「近世の「賤民制度」—伊勢・伊賀・志摩の場合」  
<ホ>  
『法学雑誌』42巻4号（奈良産業大学、1996年3月）  
桐村彰郎「中江兆民における対外意識の展開」  
<マ>  
『松山大学論集』4巻3号（松山大学学術研究会、1992年8月）  
松井茂樹「明治初期における穢多・非人の人口分布に関する一考察(1)」  
<ミ>  
『民衆史研究』49号（1995年4月）  
藤野 豊「優生思想と民衆—池田林儀と優生運動」  
<レ>  
『歴史学研究』667号（1995年1月）  
三輪泰史「書評／坂野潤治ほか編『日本近現代史 3 現代社会への転形』」  
『歴史学研究』670号（1995年4月）  
高野和基「書評／荒敬『日本占領史研究序説』」  
『歴史学研究』673号（1995年7月）  
能川泰治「日露戦争前後の都市下層社会—大阪市の人力車夫を事例に」  
中嶋久人「書評／成田龍一編『都市と民衆』〈近代日本の軌跡9〉」  
『歴史学研究』675号（1995年9月）  
丹生谷哲一「書評／細川涼一『中世の身分制と非人』」  
高木昭作「書評／塚田孝・吉田伸之・脇田修編『身分的周縁』」  
『歴史と神戸』188号（1995年2月）  
——「落合重信さんの逝去を悼む」  
『歴史と神戸』189号（1995年4月）  
沖浩一・小野寺逸也・小林義正・高木伸夫・蓮城寺秋幸「合評／最近の兵庫県下の自治体史の検討」  
小野寺逸也「渋谷純一さん・落合重信さんを偲ぶ」  
『歴史と地理』460号（1993年12月）  
勝股鎮夫「『身分統制令』と『人掃令』」  
『歴史評論』540号〈「買売春」の歴史〉（1995年4月）  
関口裕子「対遇婚の終焉と買売春の発生」

- 竹内光浩「中世のはじまりを歩いた遊女たち」  
菅原正子「中世後期洛中の傾城をめぐる」  
塚田 孝「近世大坂の傾城町と茶屋」  
石原征明「公娼制と廃娼運動」  
倉橋正直「近代日本の公娼制度」  
『歴史評論』541号（1995年5月）  
徳永高志「書評／布川弘『神戸における都市「下層社会」の形成と構造』」  
『歴史評論』544号（1995年8月）  
今西 一「書評／困民党研究会編『民衆運動の〈近代〉』」  
岩井忠熊「追悼／藤谷俊雄先生」  
『歴史評論』547号〈大坂の都市空間と仲間〉（1995年11月）  
塚田 孝「特集にあたって」  
仁木 宏「摂河泉のなかの大坂・寺内町—日本中世都市の達成」  
岡本 浩「近世後期における町と住人—白髪町をめぐる」  
中川すがね「銅商人と町—大坂屋久左衛門を例に」  
山口佳代子「近世大坂における出版業界の展開—大坂本屋仲間の視点から」  
『歴史評論』550号〈中世芸能史との対話〉（1996年2月）  
永井路子「『細男』の周辺—中世芸能と現代」  
林屋辰三郎「インタビュー／中世芸能史研究の軌跡を語る」  
岩崎武夫「『今昔物語集』悪業譚にみる劇的なもの」  
飯沼賢司「八幡神と神輿の成立」  
広瀬浩二郎「盲僧のイメージ」  
山路興造「中世期猿楽能の諸相」  
當間一郎「組踊以前」  
——「古典芸能を演じて—芸能の現在」  
『歴史民俗学』1号（1995年4月）  
谷 万平「賤種流璃譚(1)」  
半田 直「山窩資料 [幕末から明治初期の一犯罪者による証言]」  
『歴史民俗学』3号（1996年2月）  
飯尾恭之「尾張サンカの研究／廻遊竹細工師「オタカラシュウ」の面談・聞き書き・検証調査」  
礪川全次「喜田貞吉と“賤民の歴史民俗学”／ニッポン民俗学外史」  
田中紀子「菊池山哉小伝」  
谷村俊介「白山神巡脚考」  
『歴博』56号（1992年12月）  
新井勝紘「日本国憲法と近現代展示」  
『列島の日本史』10号（1996年3月）

## &lt;シ&gt;

- 『史翰』21号(国学院大学地方史研究会、1994年8月)  
吉岡 孝「八王子千人同心の身分に関する基礎的考察—千人同心=御家人説への批判」
- 『泗水』13号(四日市市立図書館、1995年3月)  
和田 勉「近世四日市の芸能の民」
- 『泗水』14号(1996年3月)  
和田 勉「伝統産業 日本一の草履表(伊勢表)」
- 『静岡県近代史研究会会報』193号(静岡大学教育学部、1994年10月)  
吉見義明「弱者の文明—占領日本の民衆意識」
- 『静岡県史研究』11号(静岡県教育委員会文化課県史編さん室、1995年3月)  
木村 博「[死]をめぐる俗信」  
岩田重則「弾丸除け信仰の基層—ケガレと認識された戦争」
- 『市政研究』108号(大阪市政調査会、1995年7月)  
村越末男「部落解放の戦後五〇年」
- 『史学雑誌』104編5号<1994年の歴史学界—回顧と展望>(1995年5月)  
黒川みどり「日本(近現代)」<日露戦後から戦前の思想・文化>
- 『信濃』46巻8号(1994年8月)  
羽床正明「殺牛馬祭祀についての覚え書き」

## &lt;セ&gt;

- 『西南地域史研究』10号(1995年10月)  
原口顕雄「近世福岡藩における被差別部落の身分支配と生業」

## &lt;タ&gt;

- 『たのしい授業』158号(1995年9月)  
住本健次「たのしい同和教育をめざして—民衆悲慘史の克服を」
- 『たのしい授業』159号(1995年10月)  
板倉聖宣「部落差別の歴史を考える—斎藤洋一・大石慎三郎『身分差別社会の真実』を読んで」  
住本健次・板倉聖宣「グラフで見る世界(88)都道府県別に見た被差別部落」
- 『たのしい授業』162号(1995年12月)  
板倉聖宣・橋本淳治「グラフで見る世界(90)ある被差別部落の人口の変遷をどう読み取るか—江戸時代の和泉国南王子村」

## &lt;チ&gt;

- 『地方史研究』255号(1995年6月)  
藤井寿一「近世前期三河地方における「被差別民」の土地所持」
- 『地方史研究』257号(1995年10月)  
藤本清二郎「近世城下町の徘徊者・胡乱者」
- 『中央史学』17号(1994年3月)

植山 淳「地方改良運動と都市—感化救済事業を中心に」

## &lt;ト&gt;

- 『東海近代史研究』17号(1995年12月)  
藤井寿一「被差別部落関係者の戦争責任について・小考」

## &lt;ニ&gt;

- 『日本史研究』389号(1995年1月)  
中川すがね「書評/吉田伸之『近世巨大都市の社会構造』」  
上杉 聡「部会ニュース/近現代史部会[書評/今西一『近代日本の差別と村落』]」
- 『日本史研究』390号(1995年2月)  
三澤 純「維新変革と民衆意識—「土地平均」風聞を手掛かりに」
- 『日本史研究』391号<1994年度日本史研究会大会特集号>(1995年3月)  
小路田泰直「天皇制と公共性」  
東島 誠「<公共性>問題の構図と<無縁>論」  
藪田 貫「コメント/小路田泰直・東島誠両報告について」  
畑中敏之「書評/塚田孝『身分制社会と市民社会』」
- 『日本史研究』394号(1995年6月)  
脇田 修「藤谷俊雄先生を悼む」
- 『日本史研究』396号(1995年8月)  
後藤孝夫「研究展望/『中江兆民評伝』所感」
- 『日本史研究』397号(1995年9月)  
片岡 智「書評/塚田孝・吉田伸之・脇田修『身分的周縁』」
- 『日本史研究』398号<1995年度日本史研究大会にむけて>(1995年10月)  
吉田伸之「[江戸]の普及」  
岩崎奈緒子「近世後期における他者像の創出—「クナシリ・メシナの戦い」の解釈とアイヌ像」
- 加藤千香子「大正デモクラシー期における「国民」統合と「家」—内務官僚・田子一民の思想にみる」
- 『日本の地域福祉』8号(日本地域福祉学会、1995年3月)  
杉山博昭「地域実践を基盤とした地域福祉論の開拓—山口県における姫井伊介の実践と社会事業論」
- 『日本歴史』569号(1995年10月)  
脇田修・彌宣田佳男・山内晋次・白川哲郎・山口佳代子・能川泰治「地方史研究の現状 大阪府」
- 『人間文化』8号(愛知学院大学人間文化研究所、1993年9月)  
林 淳「陰陽師と神事舞太夫の争論」

## &lt;ヒ&gt;

- 『ヒストリア』145号(1994年12月)

ナト神戸」

<ロ>

六区生活史調査研究委員会編『いまを生きる そしてあしたへー部落の見聞録 六区  
の生活史』全六冊（京都解放教育研究財団、1995年1月）

<地域の概況をさぐる><六区のくらしと生活><解放運動の展開と創造  
(1)><解放運動の展開と創造(2)><解放教育の確立をめざして(1)男山中  
学校事件まで><解放教育の確立をめざして(2)教育の機会均等を求め  
て>

<ワ>

和歌山県同和委員会編『和歌山県同和運動史』史料編（1995年3月）

<担当者：前田正明、笠原正夫、木村博一、小山仁示、高嶋雅明、重松正史>

渡部徹先生を偲ぶ会編『渡部徹先生を偲ぶ』（1995年7月）

渡辺俊雄『近代の部落差別とは何かー「特殊部落」とは』（今日から始まる会、1995  
年5月）

渡辺俊雄編『部落史を考える』第2集<「瓦版／新刊・旧刊情報」No13～No29>（1995  
年8月）

渡辺俊雄『都市下層社会』論と部落』（『戦前日本社会事業調査資料集成』第4巻[月  
報]10、勁草書房、1995年8月）

## (2) 逐次刊行物

<ア>

『アサヒグラフ』3812号（1995年6月）

（義） 「書評／曹智鉉撮影『部落 曹智鉉写真集』」

<イ>

『池坊短期大学紀要』25号（1995年3月）

秋定嘉和「資料紹介／原胤昭「全国慈善事業視察報告書」(3)」

『伊那』795号（伊那史学会、1994年8月）

関島裕輔「大江磯吉の生涯に学ぶもの(2)」

<オ>

『大阪春秋』77号（1995年1月）

北崎豊二「大原社会問題研究所」

『大阪明浄女子短期大学紀要』9号（1995年3月）

布引敏雄「毛利輝元側室二ノ丸様の薄幸」

『大原社会問題研究所雑誌』434号（1995年11月）

横関 至「賀川豊彦と日本基督教連盟の「社会信条」(下)」

<キ>

『紀尾井史学』12号（上智大学大学院史学専攻院生会、1992年12月）

西田知己「近世語としての「血」についてー「血筋」意識の形成に関する一試論」  
『季刊・食』55号（1995年1月）

朝治 武「『酒の展示』の舞台裏」

宮武利正「ある明治期文献についての考察」

『教員養成セミナー』170号<特集：差別する心と同和問題>（時事通信社、1995年  
6月）

池田清彦・竹田青嗣「対談／差別問題を開かれたものに」

本田 豊「同和問題の歴史」

安達五男「差別解消を目指す人権教育」

『教学研究紀要』4号（浄土真宗教学研究所、1995年）

左右田昌幸「本照寺「秋講」をめぐる一近世本願寺教団における「差別の論理」  
を探るノート」

『京都市史編さん通信』243号（京都市歴史資料館、1995年5月）

小林丈広「今宮神事と蓮台野村」

<ク>

『くちくまの』100号<100号記念特大号>（1995年2月）

芝 英一「田辺祭りと役人村・旧夙村(2)」

藤井寿一「近世「隠亡」身分の者の人別送りからわかること」

『くちくまの』102号（1995年8月）

芝 英一「目良村太四郎斬殺一件ー近世身分制下における武家の犯罪をめぐる  
て」

『くちくまの』103・104号（1996年2月）

廣本 満「田辺領（安藤家知行所）と与力知の今高一上富田町域を例として」

芝 英一「下積みの女性達の不遇の記録ー近世身分制社会のはざままで」

楠本長太郎「小作農民と農地改革覚書ー上富田町の資料から」

<ケ>

『研究紀要』40号（1993年5月）

明山 修「日本史における「同和教育」教材づくりの再考ー「解放令反対一揆」  
の教材化を通じて」

『現代教育科学』472号（1996年3月）

中尾健次「民主教育を破壊する「同和教育解消論」

辻本正教「解放教育が進んでいくべき道は」

<コ>

『神戸と歴史』189号（1995年4月）

沖浩一・小野寺逸也・小林義正・高木伸夫・蓮城寺秋幸「合評／最近の兵庫県下  
の自治体史の検討ー近現代の民主運動を中心に」

『国学院大学大学院紀要』24号（1993年3月）

林 盛奎「島崎藤村とキリスト教ー「破戒」におけるキリスト教の影響」

中尾健次『江戸の弾左衛門—被差別民に君臨した“頭”』(三一新書、1996年2月)  
奈良県教育委員会編『奈良県立同和問題関係史料センター平成七年度テーマ展／  
「草場」—その歴史を探る』(1995年7月)

奈良県立同和問題関係史料センター編『おぼろ—奈良奉行所管内要覧』<奈良県同  
和問題関係史料第一集>(奈良県教育委員会、1995年3月)

<ハ>

朴 憲行『軌跡—ある在日一世の光と影』(批評社、1990年9月)

畑中敏之『「部落史」の終わり』(かもがわ出版、1995年5月)

長谷川正安『部落問題の解決と日本国憲法』<部問研ブックレット12>(部落問題  
研究所、1995年4月)

原田伴彦編『編年差別史資料集』21巻<近世部落編16=補遺西日本編、年末詳編>  
(三一書房、1995年7月)

反差別国際連帯研究所しが編『語りのちから—被差別部落の生活史から』(弘文社、  
1995年11月)

<ヒ>

東日本部落解放研究所編『語り伝える込皆戸の生活』<粕川村込皆戸地区・歴史調  
査報告書 別冊>(1994年7月)

東の歴史と生活を掘りおこす会編『戦争と東のひとびと—50年後に明らかにされた  
貝塚空襲の記録』(部落解放同盟大阪府連合会貝塚支部、1996年3月)

広島地区高等学校同和教育推進協議会編『第27回広島地区高等学校同和教育研究大  
会報告書』(1996年1月)<渡辺俊雄「近代における部落解放史」収録>

平野跡地プロジェクト会議編『平野部落のあゆみとくらし』(大阪市同和事業促進平  
野地区協議会、1995年9月)

<フ>

布川清司『江戸時代の民衆思想—近世百姓が求めた平等・自由・生存』<三一新書  
1103>(三一書房、1995年1月)

藤本清二郎『近世かわた村支配の政治形態—泉州麻生嶋村の文書様式の分析』(自家  
版、1995年3月)

部落解放研究所編『戦後部落問題関係判例 資料編』(解放出版社、1995年2月)

部落解放研究所編『戦後部落問題関係判例 解説編』(解放出版社、1995年2月)

部落解放研究所編『被差別部落の民俗伝承 大阪—古者からの聞きとり』上巻<摂  
津・大阪市>(解放出版社、1995年2月)

部落解放研究所・「人権の歴史と現代」ビデオ製作委員会編『「みんな地球市民—人  
権の歴史と現代①自由」学習の手引き』(1995年8月)

部落解放同盟愛知県連合会編『愛知県の部落解放運動』<愛知県連合会結成20周年  
記念誌>(解放出版社、1995年11月)<本田豊「愛知県の部落史」収録>

<ヘ>

舩松歴史資料館編『名人 阪田三吉特別展—名人への軌跡をたどる』(1995年10月)

<ホ>

本田 豊『神奈川の被差別部落』(明石書店、1996年3月)

<マ>

松田利彦『戦前期の在日朝鮮人と参政権』<双書在日朝鮮人の法律問題5>(明石  
書店、1995年4月)

<ミ>

「岬町の歴史」編さん委員会編『岬町の歴史』(岬町・岬町教育委員会、1995年12月)

水谷孝信・東上高志『反省! 部落問題学習』(部落問題研究所、1995年7月)

宮田 登『ケガレの民俗誌—差別の文化的要因』(人文書院、1995年2月)

三輪泰史『占領期の大阪』(松籟社、1996年3月)

<ム>

村田大造『基督教独立伝導者 村田大造著作集(1)』(村田大造著作刊行会、1972年9  
月初版)

村越末男『部落解放運動と宗教—村越末男論文集』(解放出版社、1995年10月)

<モ>

森栗茂一『夜這いと近代買春』(明石書店、1995年10月)

森田康夫『浪華異聞・大潮餘談』(和泉書院、1996年2月)

<ヤ>

山内 昶『「食」の歴史人類学—比較文化論の地平』(人文書院、1994年4月)

山中永之佑編『堺県法令集』3(明治10年~12年)<羽曳野資料叢書7>(羽曳野  
市、1994年3月)

山中永之佑編『堺県法令集』4(明治13年~14年)<羽曳野資料叢書8>(羽曳野  
市、1995年3月)

山中永之佑監修『堺市制百年史』(堺市、1996年3月)

<部落史関係の執筆者: 布引敏雄(近世・近代)、山路謙三・渡辺俊雄(現代)>

<リ>

領家 穰編著『日本近代化と部落問題』(明石書店、1996年2月)<収録論文は、以  
下の通り>

・安保則夫「序章/日本近代化と部落問題」

・領家 穰「部落差別の三層構造と部落解放への視座」

・日野謙一「差別的関係についての社会学的考察—<部落>と<部落外>の関係性  
の意味を問う」

・黒田展之「「解放令」反対—揆研究の現状と課題—兵庫県下・播但—揆を中心に」

・小島達雄「被差別部落の歴史的呼称をめぐって—「特種部落」および「特殊部落」  
の呼称の形成過程とその時期」

・紺田千登史「中江兆民における「人間」の発見」

・南 昭二「明治期における神戸新川地区の屠畜業」

・安保則夫「都市における権力支配の構造と社会的差別の形成—明治・大正期のミ

- 河田光夫『親鸞の思想形成』〈河田光夫著作集第3巻〉(明石書店、1995年11月)  
 川端俊英『近代文学にみる人権感覚』(部落問題研究所、1995年5月)  
 <キ>  
 『教科書無償』編集委員会編『教科書無償—高知・長浜のたたかい』(解放出版社、1996年3月)  
 京都人権啓発推進協議会編『人権—ゆかりの地をたずねて』(1995年12月)  
 京都部落史研究所編『京都の部落史』第一巻〈前近代〉(阿吽社、1995年12月)  
 京都部落史研究所編『近江八幡の部落史』(阿吽社、1995年10月)  
 <コ>  
 小牧 薫『コラム／部落問題の解決はもうそこに』(歴史教育者協議会編『戦後史から何を学ぶか』青木書店、1995年3月)  
 小山仁示『戦争 差別 公害』(解放出版社、1995年11月)  
 五郎兵衛記念館編『五郎兵衛用水を歩く—見学ガイドブック』(浅科村教育委員会、1995年8月)  
 <サ>  
 斎藤洋一+大石慎三郎『身分差別社会の真実』〈講談社現代新書1258〉(1995年7月)  
 左右田昌幸『近世中期本願寺教団における「部落寺院」支配の様相—近世「部落寺院制」論への疑問』(『本願寺教団の展開』1995年9月)  
 堺における朝鮮人強制連行・強制労働の実態を明らかにする会編『戦前の堺における朝鮮人—強制連行・強制労働の実態を明らかにするために』(1992年9月)  
 佐々木隆爾『戦後政治支配と部落問題—「解同路線」はどうして形成されたか』〈部問研ブックレット13〉(部落問題研究所、1995年5月)  
 佐々木隆爾『戦後保守政治をどうとらえるか—世界情勢の推移のなかで』(歴史教育者協議会編『戦後史から何を学ぶか』青木書店、1995年3月)  
 佐藤常雄+大石慎三郎『貧農史観を見直す』〈講談社現代新書1259〉(1995年8月)  
 里上龍平『近代日本の朝鮮認識—朝鮮保護政治期の雑誌・出版物にみる日本人の朝鮮観』(古屋哲夫編『近代日本のアジア認識』1994年3月)  
 <シ>  
 塩見鮮一郎『差別語と近代差別の解明』(明石書店、1995年4月)  
 偲ぶ会呼びかけ人編『追憶 故渡部徹先生』(1995年5月)  
 「宗教と部落差別」関係文献・論文目録編集委員会編『「宗教と部落差別」関係文献・論文目録』(同和教育振興会、1996年3月)  
 <ス>  
 崇仁地区寺院調査団〈崇仁地区の文化と歴史を守る会編〉『崇仁地区寺院調査団中間報告』II〈浄徳寺〉(京都市文化観光課、1995年3月)  
 崇仁地区寺院調査団〈崇仁地区の文化と歴史を守る会編〉『崇仁地区寺院調査団中

- 間報告書』III〈正覚寺〉(京都市文化観光課、1996年3月)  
 住本健次『授業書案・「同和」教育入門／部落の歴史』(キリン館、1996年3月)  
 <セ>  
 全国同和教育研究協議会編『さらに確かな部落問題学習の創造』〈全同教同和教育資料5〉四訂版  
 (1995年11月)〈収録論文は、以下の通り〉  
 寺木伸明「部落史学習への若干の提言—部落史研究の現状をふまえて」  
 中尾健次「部落史研究と教育の課題」  
 沖浦和光「日本の技術と文化を担った被差別民」  
 <タ>  
 高橋幸春『絶望の移民史』(毎日新聞社、1995年11月)  
 高見教倫・中野光風+高見篤良編『出世魚・風嘯』(1995年8月)  
 滝尾英二編著『日帝下朝鮮の「癩」政策と小鹿島に生きた人びと』〈日帝下朝鮮の「癩」に関する資料集第二輯〉(人権図書館・広島青丘文庫、1995年11月)  
 竹内 洋『立身出世と日本人』〈NHK人間大学〉(日本放送出版協会、1996年1月)  
 田中 豊『大坂の茶立て女—御池通五・六丁目を中心に』(『日本文化史論集』1992年)  
 田辺同和史編さん委員会編『田辺同和史』第三巻〈史料編〉(田辺市、1995年10月)  
 <チ>  
 崔晶基(チュ チャンギ)『日帝下朝鮮のらい(癩)患者統制に関する一研究』〈日帝下朝鮮の「癩」に関する資料集第一輯〉(人権図書館・広島青丘文庫、1995年11月)  
 チョ・チヒョン(曹智鉉)『部落—曹智鉉写真集』(筑摩書房、1995年4月)〈文：鈴木常勝・中村水名子・土方鉄〉  
 <ツ>  
 塚本学責任編集『ひとと動物の近世—つきあいと観察』〈朝日百科・日本の歴史別冊No.18〉(朝日新聞社、1995年5月)  
 塚本 学『江戸時代人と動物』(日本エディタースクール出版部、1995年10月)  
 土屋礼子『大阪の錦絵新聞』(三元社、1995年12月)  
 鶴原東のあゆみ編集委員会・鶴原東の歴史編集委員会編『鶴原東のあゆみ—長坂解放会館30年の足跡』(泉佐野市立長坂解放会館、1995年3月)  
 <「鶴原東のあゆみ」特別寄稿／中世根来寺と市域賤民』(藤原宏)所収>  
 <テ>  
 寺木伸明『被差別部落の起源—近世政治起源説の再生』(明石書店、1996年2月)  
 <ナ>  
 中尾健次編『弾左衛門関係史料集—旧幕府引継書』全3巻(解放出版社、1995年10月)



## 資料

## 部落史関係文献目録

(1995年1月～1996年3月)

以下の目録は、本号特集の一環として、概ね1995年1月から1996年3月の間に発表された著作・論文を対象に、(1)単行本・冊子、(2)逐次刊行物、(3)部落問題・人権関係逐次刊行物に分類して掲載した。(1)は編著者の、(2)(3)は雑誌名の50音順に配列した。なお、1988年以降に発表されたものを、若干補った。

## (1) 単行本・冊子

## &lt;ア&gt;

赤松啓介『差別の民俗学』(明石書店、1995年6月)

阿部謹也『「世間」とは何か』&lt;講談社現代新書1262&gt;(1995年7月)

網野善彦『日本史再考』&lt;NHK人間大学&gt;(日本放送出版協会、1996年1月)

網野善彦『続・日本の歴史をよみなおす』&lt;ちくまプリマーブックス96&gt;(筑摩書房、1996年1月)

安達五男編『仏教と部落問題関係史料集成』第1巻&lt;播磨国関係史料&gt;(兵庫部落解放研究所、明石書店発売、1995年7月)

安達五男『播磨国被差別部落庄屋文書』(明石書店、1996年2月)

## &lt;イ&gt;

池田孝雄編『紀伊新報田辺市域関係記事索引(月日順)自1946.2.20～至1955.12.30』(B5版・197頁)

池田孝雄編『紀伊新報田辺市域関係記事索引(項目別順)自1946.2.20～至1955.12.30』(B5版・172頁)

井沢元彦『穢れと茶碗—日本人は、なぜ軍隊が嫌いか』(祥元社、1994年5月)

石井良助『女人差別と近世賤民』(明石書店、1995年5月)

乾 武俊『民俗文化の深層—被差別部落の伝承を訪ねて』(解放出版社、1995年8月)

井上満郎『近江と俘囚—被差別部落蝦夷起源説批判』(木村至宏編『近江の歴史と文化』思文閣出版、1995年11月)

## &lt;ウ&gt;

宇佐美英機『近世物吉の生活と道』(吉田晶ほか編『歴史の道・再発見』第4巻、フォーラム・A、1994年1月)

上田正昭『歴史家の眼』(小学館、1995年12月)

## &lt;オ&gt;

大阪人権博物館編『大阪人権博物館—祝リニューアルオープン』(1995年12月)

大阪人権博物館編『大阪人権博物館展示総合図録—人権からみた日本社会』(1996年3月)

「大阪の部落史」編纂委員会編『新修 大阪の部落史』上巻(解放出版社、1995年5月)&lt;収録論文は、以下の通り&gt;

- ・森 明彦「古代の被差別民」
- ・吉田徳夫「中世の被差別民」
- ・中尾健次「近世かわた村の概況」
- ・寺木伸明「近世部落の成立過程の具体相」
- ・のびしょうじ「かわた役負担論の射程」
- ・のびしょうじ「かわた生業構造の特質」
- ・中尾健次「近世かわた村の生活—「家観念」を中心に」
- ・藤原有和「身分解放の闘い」
- ・左右田昌幸「部落寺院と真宗教団」
- ・小西愛之助「摂津・河内・和泉の「非人」」
- ・森田康夫「多様な「情念的」賤民—聖・夙・陰陽師を中心に」

「大阪の部落史」編纂委員会編『新修 大阪の部落史』下巻(解放出版社、1996年3月)&lt;収録論文は、以下の通り&gt;

- ・秋定嘉和「近代部落史研究の現状」
- ・北崎豊二「「解放令」前後の部落」
- ・福原宏幸「水平社創立以前の仕事と生活」
- ・吉村智博「水平社創立以前の教育と部落」
- ・三原容子「水平社創立後の仕事と生活」
- ・朝治 武「大阪・西浜における水平運動」
- ・布引敏雄「大阪の融和運動・融和事業」
- ・湯浅孝子「水平社創立後の融和教育」
- ・渡辺俊雄「戦後の部落の概況と研究の現状」
- ・石元清英「部落の実態変化—高度経済成長を中心に—」
- ・渡辺俊雄「戦後の部落解放運動史」
- ・金井宏司「戦後・同和行政の変遷」
- ・中野陸夫「戦後・同和教育のあゆみ」

大阪府同和教育研究協議会：大阪市同和教育研究協議会編『1996年度用小学校教科書検討資料—社会』(1995年)

## &lt;カ&gt;

河田光夫『親鸞の思想と被差別民』&lt;河田光夫著作集第1巻&gt;(明石書店、1995年5月)

河田光夫『中世被差別民の装い』&lt;河田光夫著作集第2巻&gt;(明石書店、1995年6月)